かわさきの新たなランドマーク

川崎市内を一望できる展望ロビー・スカイデッキを公開

新庁舎は、震災対応にも優れ、大規模災害時にも市民への情報発信、生活再建・復興の中枢拠点として役割を担います。

北東方面には、六郷河川敷や新宿に東京都庁、羽田空港の航空機離発着、東京タワーやスカイツリーなどが一望できます。

南東方向には、横浜ランドマークタワーやベイブリッジ、つばさ橋、また天気の良い日には富士山を一望することができます。

1938年に竣工した川崎市庁舎は、75年の歴史に幕を閉じ、新たに地上25階、地下2階、高さ約117mの新庁舎が誕生。

新庁舎25階には、地上110mの高さから市内を一望できる『展望ロビー・スカイデッキ』が設置され、市内は勿論、東京都内、羽田空港やスカイツリー、横浜ベイブリッジから富士山に至るまで眺望が楽しめます。どなたでも利用でき、入場無料。

【展望ロビー公開時間】
午前9時～午後9時まで
（土日祝日含む）

※設備点検や悪天候時には展望フロアーを閉鎖することがあります。

市民代表の議員が熱い議論を展開する議場

議員席後方の傍聴席は、100名が議会の進行を見ることができます。また、親子席が設けられ、小さいお子さんと一緒でも安心して議会をご覧いただけます。

議場内「演壇」からの風景。代表質問や討論などおこなう時に使用されます。議場や委員会室では、市民生活に直結する様々な課題を活発に議論されています。

新庁舎23階・24階部分にある市議会議場は、各区選出の議員 60人が市民の代表として、活発に論戦が繰り広げられています。

新議場では、新たに採決における押しボタン方式を採用し、大型スクリーンに各議員の賛否が色分けして表示されるなど、採決態度が鮮明になりました。

傍聴の流れ【動画】

「議会かわさき」広報キャラクターのおよよんが川崎市議会の傍聴の流れをご紹介します。

議会中継

開催中の会議および過去の会議をご覧になれます。

会議録検索システム

川崎市議会の本会議・委員会等の全発言を対象に言葉で検索できます。

発行者　川崎市川崎区宮本町１　川崎市議会議員　飯田満

川崎市議会報告

せいじのみかた

2025年　vol.4

特集

高濃度PCB処分のタイムリミットまで10カ月！
長期保管はリスクも?!
～行政施設から続々発見される高濃度PCB～

川崎市議会議員
環境委員会 委員

飯田 満（みつる）

Profile

せいじのみかた

第2回市議会定例会　一般質問　6月20日

高濃度PCB処分のタイムリミットまで10カ月！長期保管はリスクも?!
～行政施設から続々発見される高濃度PCB～

「無いと認識」が「発見は否定できない」に真逆の認識転換！

飯田満　全国5か所にあった高濃度PCBの処分施設は、現在、唯一、北海道JESCOのみとなった。その施設も令和8年3月31日をもって稼働停止が決まっていて、幾度となくこの議場で伝えて来た。

PCBは、昭和43年に発生した「カネミ油症事件」の原因となった化学物質。極めて毒性の高いPCBという化学物質に対する本市の認識とPCBは危機事象においてどのような扱いとされているのか。

危機管理監　PCBは、電気機器の絶縁油、熱交換器の熱媒体などに使われ、体内に入ると抜くことができず、様々な症状を引き起こす。現在は使用を禁止され、法令に基づき、施設管理者や事業者の責任のもと、適正に処理を進めている。

危機事象発生時には、市民の健康等を保護するため、各局からの情報収集、被害状況の把握、関係方面への報告を行うなど、庁内の対応を注視しながら、関係機関と連携して対処をおこなって行く。

飯田満　この数カ月で、教育文化会館、大谷戸小学校及び南部市場から高濃度安定器が新たに発見されている。完全処分に向けた取組状況、法令順守など、取組の徹底については。

三田村副市長　庁内の高濃度PCB廃棄物については、これまで繰り返し調査を実施してきたことにより、結果として網羅的な調査となっている。

高濃度PCBにつきましては、法令で定める処分期間（令和5年3月末）の経過後も発見されている。これまでの経緯を踏まえると、各部局において当事者意識が足りず、確認が不十分だった。

国の動向や本市のこれまでの状況を踏まえると、今後、施設解体などに伴い、発見される可能性は否定できないと考えている。

飯田満　これまでの間、積み上げてきた議論の中で、行政施設への調査終了の度に「高濃度PCBは無いと認識している」と答弁を繰り返して来た。いつの時点で行政の認識が変わったのか。

三田村副市長　昨年度実施した高濃度PCBの確認作業について、今年3月末に「新たに高濃度PCBはない」と議会に報告した。

しかし、4月以降も庁内の複数施設から新たに高濃度PCBで発見されるなど、今後も目視で確認できない箇所から発見される可能性があるものと認識した。

飯田満　議論における行政幹部は、この間、「高濃度PCBは無いものと認識しる」と繰り返し答弁をしてきた。しかし、今後は「発見される可能性は否定できない」と認識が180度変わるのであれば、今までの答弁は誤りだったと認めるべきではないか。

環境局長　これまで、その時点での調査状況を踏まえて判断してきたが、その後、新たに高濃度PCBが発見されていることから、結果的には「誤りであった」と言われてもやむを得ない。

飯田満　副市長の答弁では、「これまで繰り返し調査を実施して来たことにより、結果として網羅的な調査となっている」と答弁があった。恐らく、令和5年度の「最終的な調査」、令和6年の「再確認調査」、そして現在の「保管等確認調査」、これらを含めて「網羅的」という言葉を使われたと想像する。この網羅的調査の終了はいつの時点なのか。また、網羅的調査の終了後に期待することは。

三田村副市長　現時点では8月末を目途に進めているところ。今回の確認作業をもって、新たに高濃度PCB廃棄物が発見されることが無いよう、切に望んでいる。

調査対象外の施設から「発見されないとは言い切れない」!?

飯田満　昭和56年に建設された労働会館は、高濃度PCBの掘り起こし調査対象（昭和52年3月以前の建築物）外の施設。しかし、高濃度安定器が改修工事で新たに発見された。この事案は、2つの法令違反の疑いが極めて高い。1つが、電気事業法省令違反。2つが、PCB特措法違反だ。「法令違反」に対して、行政としての対処方針を公表して頂きたい。

三田村副市長　法令の違反者に対しては、法令順守を徹底させるとともに、生活環境の保全上支障がないよう指導をおこなって行く。

飯田満　労働会館の事案、法令違反の可能性が極めて高い。労働会館の建設、電気設備を請負った事業者への調査結果は。また、当該事業者が本市の他の公共事業に関与していたか否かについての調査結果は。

経済労働局長　総合財務会計システムによる契約実績や保存されている図面等により調査をしたところ、本市公共施設においては、当該事業者が関わった実績は確認できなかった。

飯田満　正直、不安が的中した。前回の議論でも調査結果に3つのパターンが考えられると言った。1つが、対象社が過去に本市の電気設備工事に携わったことがある場合。2つに、対象社が本市の電気設備工事に携わったことはないと明確な場合。3つに、対象社が本市の電気設備工事に携わったか否かが分からない場合。

昭和56年に完成、調査対象外施設の労働会館

今後、昭和52年以降に建設された行政施設から、高濃度PCBが発見される可能性について、法令違反の高濃度PCBが発見されることを想定しているのか。

環境局長　昭和52年4月以降に建てられた労働会館で発見され、その原因が確認できないので、現時点では、他の市有施設で発見されないとは言い切れないと考えている。

教育長「調査が不十分だったことなど、遺憾である！」

飯田満　今年度に入り、「教育文化会館」から高濃度安定器1台、「大谷戸小学校」から高濃度安定器17台、経済労働局の「南部市場」から高濃度安定器2台が次々に発見されている。そして、3日前、またしても、高濃度安定器が新たに発見されたと情報提供があったが概要は。

教育次長　南河原小学校の1階電気室から蛍光灯安定器3台が発見され、3台全てが高濃度PCBであると確認された。

飯田満　教育文化会館の事案、地下機械室から高濃度安定器1台が新たに発見された。ビニールに包まれた状態で棚に置かれていたとの説明を受けたが、そのビニール袋は、高濃度汚染物としての処分が必要だが、どのような処理をしたのか。

教育次長　関係局及び専門処理業者の立ち合いのもと、本体からの油等の漏洩や梱包していたビニール袋への付着が無かったことから、袋自体は高濃度PCB廃棄物には当たらないことを確認し処分をおこなった。

飯田満　中原区の大谷戸小学校の階段下のグラウンド散水ポンプ室から高濃度安定器が発見された事案、高濃度安定器が17台。同校舎は平成26年の建築された校舎であり、当然、調査対象施設外。どのような経緯で発見に至らなかったのか。

教育次長　大谷戸小学校を現校舎に建て替えるため、昭和41年建築の旧校舎を解体した際に取り外した安定器が保管されていたものと考える。一時的に仮設倉庫で保管し、その後、改築した校舎のポンプ室に移したことを当時の工事関係者に確認できている。

飯田満　この間、複数の行政施設から高濃度安定器が新たに発見されることは憤りを感じる。

特に教育施設からの高濃度PCBの発見が多いことから、教育行政のトップとして、これまでの様々な調査における所感を伺いたい。また、今後、高濃度PCBの新たな発見の可能性については。

教育次長　これまで校舎等に設置されている蛍光灯安定器等の委託による調査や各学校においての保管状況の確認等を複数回、実施してきたが、日常的に立ち入らない場所への調査が不十分でだったこと遺憾と考えている。今後、発見される可能性に加え、事務局職員による全市立学校等を対象とした現地調査を実施しており、今後、発見された場合には、子どもたちの安全を確保するため、速やかに処理を進めてまいります。

大谷戸小学校のポンプ室で発見された高濃度安定器